

登録No. S-049
 登録名 DCS療法
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	S-1	基準量		d1~d14	p.o.	分2朝夕食後	2週間投与2週間休薬
Rp.2	KN3号	1000mL/body		d0・d2	d.i.v.	4hr	
Rp.3	KN3号	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.4	ラクテック	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.5	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.6	ドセタキセル 生食	40mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v.	1hr	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.7	シスプラチン 生食	60mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.8	マンニトール	300mL/body		d1	d.i.v.	1hr	
Rp.9	ラクテック	1000mL/body		d1	d.i.v.	4hr	

1クールの間 4週間
 その他（副作用・PS規定等）

副作用：骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、脱毛など。
 悪心・嘔吐時：プロクロルペラジン1A、ハロペリドール1/2A、デキサメタゾン3.3mgなどを生食100mLに溶解し、30分で投与。
 蓄尿あり：12時間で尿量1000mL以下の時、フロセミド20mg i.v。
 3日間の入院必要。